


あいさつ

現在、武庫川流域委員会では、新しい河川法に基づいた河川整備基本方針・整備計画の策定に取り組んでいます。そのなかで、過去の洪水災害と実績降雨を評価する過程にさしかかり、昨今の地球レベルで進む異常気象・異常降雨をどう受け止めるべきかという課題に直面しております。

従来の河川整備計画は、過去の長期にわたる実績降雨を計画確率規模まで引き伸ばした計画対象降雨に対してどのような対策を講じるかを検討してきました。しかしこれからは、地球レベルの異常気象により過去の降雨パターンとは異なる異常降雨が頻発するのではないかという予測のもとに、これまでの考え方が使えるのかどうかということが懸念されます。

こうした状況をどうとらえればいいのか。地球規模で起きている気象変動のテンポや影響をどのように見通すべきか。また、局地的な豪雨がこれから常態となるのかどうか。その頻度をどのようにとらえるべきか、などについての専門的な知見を得たいと企画したのが本日の講演会であります。

本日の講演会が、あすの川づくりを考えるヒントになることを期待したいと思います。

 **武庫川流域委員会**
委員長 松本 誠

第1回 川づくり講演会

平成 17 年 3 月 8 日 (火)
兵庫県民会館 パルテホール

開 場	13:00
開 演	13:30 ~

主 催  **武庫川流域委員会**
(兵庫県知事の諮問機関)

後 援 兵庫県河川協会

第1回 川づり講演会

プログラム

司会 武庫川流域委員会
委員 中川芳江

・ 開会の挨拶 武庫川流域委員会 委員長 松本 誠

・ 講演会

テーマ：異常気象・異常降雨を考える

京都大学 名誉教授 山元龍三郎 氏

「異常気象 - 特に集中豪雨の
長期的動向について」

神戸海洋気象台長 内野 修 氏

「近年の降雨傾向と今後について」

・ 閉会のことば

【講師のプロフィール】

やまもと りょうざぶろう
山元 龍三郎 氏 京都大学 名誉教授

1927年5月23日生

略 歴：

1951年 3月 京都大学理学部地球物理学科卒

1965年 6月 京都大学教授（理学部）

1991年 3月 京都大学を定年退官、
名誉教授の称号を受ける

1991年 4月～2002年3月

（財）日本気象協会関西本部 相談役

その他

（社）日本気象学会 理事長、
日本学術会議気象学研究連絡委員会 委員長、
気象庁気候問題懇談会 会長などを歴任。
現在、SOHO で気候変動の実態把握の研究

うちの おさむ
内野 修 氏 神戸海洋気象台長

1946年8月1日生

略 歴：

1974年 3月 九州大学大学院卒（理学博士）

1974年 4月～1983年10月 九州大学

1997年 4月 気象庁観測部環境気象課長

2001年 4月 気象庁観測部管理課長

2002年 4月 広島地方気象台長

2004年 4月 神戸海洋気象台長